

アジア情報関係機関懇談会

「調査研究部門に隣接する図書館は、その価値をいかに高められるか」コメント

2014/3/19

中部大学国際関係学部

大澤肇 [osawa\[@\]isc.chubu.ac.jp](mailto:osawa[@]isc.chubu.ac.jp)

※本資料は正式に出版されたものではありませんので、転載・引用・紹介については、お手数ですが著者までご連絡ください。



中部大学



本日のコメントについて

- コメンテーターの専門領域から、比較事例は主として中国語圏の研究図書館と、欧米の中国研究の図書館が中心。
- 実は、立地条件や補助金の性質などで研究図書館は～とは一概に言えない。

→例えば、市中心部ゆえに、滞在型サービスを拡充させるか。遠距離ゆえに、非来館型サービスを拡充させるか等。

- 用語についての補足：

・研究者／研究図書館／ユーザー…内部のメンバーのみではなく、外部の関心のある者も含むこととする。



コメンテーターについて

- 1977年、東京生まれ。
- 中国研究者としてのキャリア＝ユーザー
 - ・2000～2007年 慶応大学及び東京大学大学院院生
(2003～2005年中国に留学、2010年東京大学より博士号)
 - ・2012～現在 中部大学にて中国語・中国史・中国政治関係の教員として学生を教育・指導。
- 文書館・図書館員としてのキャリア
 - ・2000～2003年 国立公文書館アジア歴史資料センター調査員→デジタルアーカイブの構築
 - ・2007～2012 東洋文庫研究員→NIHU地域研究プロジェクトにおいて5年の期間に電子図書館の構築、NACSIS webcatへの登録、蔵書構築、デジタルリソースの導入整備など実施。



コメンテーターについて

- コメンテーターが感じる顕著な問題としては、デジタル化への対応の遅れ(デジタル・ネイティブの学生・若手研究者とのデジタル・ディバイド)
 - 文系の大学生の卒論執筆にはcinii等の検索が不可避。
 - デジタル化は図書館の固定業務をだいぶ減らした筈…
- コメントは、概観の後、①多メディア・デジタル化について、②ユーザーへの情報発信・交流、③対外連携とDB・アーカイブの構築、という3つのテーマについて、4つの発表と、コメンテーターのこれまでの経験から得られる知見を整理
- 記号…#発表館の事例に関係、※中国研究の事例に関係、◎お聞きしたいこと。



総論...研究図書館（界）の現状

■ 現在は情報環境の転換期。インターネットの一般化やAmazon等オンライン書店の台頭、グローバル化の進展により、専門知や外国の情報が簡単に手に入るように。

→民間では、ナウカ書店など専門書の販売・出版業者の廃業という形で影響が出始めている。

<http://www.shinbunka.co.jp/kakonews/2006/kako06-07.htm>

→以前のように、文献資料を収集・整理・閲覧に供するだけではプレゼンスは低下。非文献資料をどう扱うか？

→研究図書館が在ることが／に来ることが どのようなメリットをもたらすのか、アピールする必要。

#アジア経済研究所「印刷媒体から電子媒体へのシフト」、BOZCOLI「情報提供力≠蔵書数」



多メディア／デジタル化への対応

- 研究図書館に来ることのメリット…有償大型データベースへの接続(個人での契約は無理だから)

→しかし、データベース無しの研究は成立しえない。なぜなら、最新の学術成果はウェブで発表され、データベースに登録される傾向。特に理工系で顕著。

※慶應矢上図書館では書架を撤去、ラーニングスペースへ。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/031/shiryo/_icsFiles/afieldfile/2013/05/21/1335158_3.pdf

- 有償大型データベースへの契約・接続は個人では無理

→これこそ図書館の出番では？これは理工系ばかりでなく、人文系でも。



多メディア／デジタル化への対応



改装前

理工学メディアでの改修
(書庫を撤去し、グループ学習室)



改装後：グループ学習室





多メディア／デジタル化への対応

※中国研究の場合、CNKIといった論文データベースの検索は必須。CNKIとは、中国版Ciniiのこと。しかし1990年以降の論文だったら、ほとんど全てがCNKIに存在。中国の研究動向を探るには必須。台湾なども博論の電子・無償公開化が進んでいる。

※アメリカの研究大学ではCNKIはもちろん、大量のデータベースを大量に購入





多メディア／デジタル化への対応

- 極論：オープンアクセスの高邁な理念は、研究者にとってみればどうでもいい。現在、アクセスできるかどうかが重要。

→高価な場合は、業者との交渉やコンソーシアム結成も視野に入れて…

- 一歩進んで。歴史研究では、データベース以外に、非文字資料(ポスター、絵はがき、音声資料etc…)をどう扱うか、というのが一つのトレンド。研究者に取ってみれば、こうした非文字資料も図書館が取り扱えるのかというのは気になるところ。

→画像資料は、宣伝やウェブサイトなどで使い勝手がよい。

◎DBやデジタル資料も含め、非文字資料の取り扱いについてどうしているかお聞ききたい。

デジタル化への対応



※東洋文庫における『申報』データベースの導入
 2012年、中国・愛如生社より購入。『申報』とは、近代中国において、最も影響力があり、また長期間(1877~1949年)発行された新聞。全記事のテキスト検索が可能。購入金額236万円は、他機関との共同利用を前提にプロジェクト実施機関である人間文化研究機構に追加申請し交付された。



デジタル化への対応ーおまけ

- DBへの接続の必要やお金が無くても、できる／必要なことはある。

◎DBの出力結果や、コピーに代わるスキャンや撮影結果をデジタルメディアで提供していますか？

※上海図書館や香港中文大学中国研究サービスセンターでは、CDやUSBメモリなどへのコピー可。

→遠方から来た研究者にとって、嵩張り、重い紙の束よりも、デジタルデータの方が効率的。





デジタル化への対応—おまけ

扫描使用指南 (Scanning Guideline)

- 

在复印机选择 [Store to USB]
- 

在复印机选择荧幕上显示的 [Store to USB]
- 

在八达通机选择繁体/简体后，插入八达通，可开始扫描
- 

完成扫描后，八达通机荧幕会显示文件页数和收费金额，核对无误后，请按荧幕上的[完成影印]
- 

请选取已扫描之文件档存入USB (图示✓)
- 

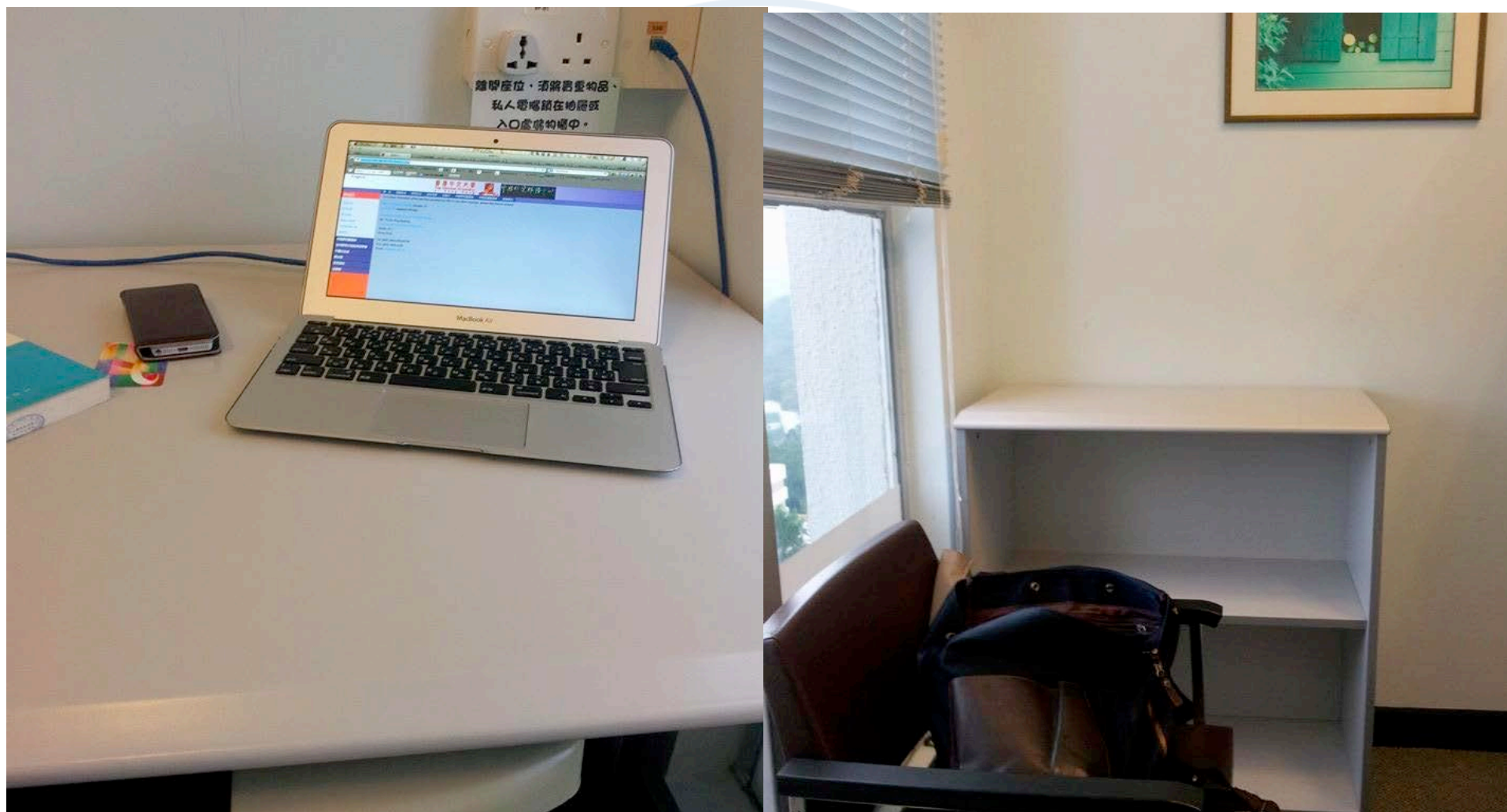
插入USB以储存已扫描之文件
- 

如需要列印收据 请必须选择 [列印收据] 并按 [确定]
- 

完成后，请取回你的八达通



デジタル化への対応ーおまけ





デジタル化への対応ーおまけ

◎外部利用者がインターネットへ接続可能ですか？

→大学などではeduroamなどのプロトコルがある。

「eduroam JP」- 日本における国際無線LANローミング基盤

eduroam (エデュローム) は、欧州のTERENAで開発された教育・研究機関用の無線LAN ローミング基盤です。

現在、欧州約40か国に加えて、オーストラリア、香港、日本、台湾、ニュージーランド、カナダ、米国、ロシア、韓国、シンガポール、タイなどが加盟しており、キャンパス無線LANの国際的なデファクトスタンダードになっています。

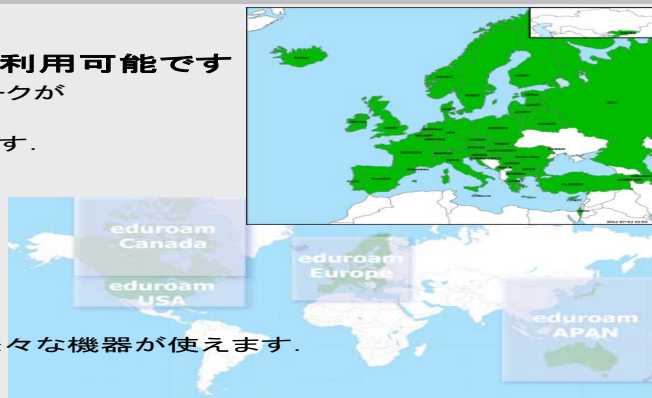
eduroamは2006年に全国大学共同電子認証基盤構築事業(NII)の一環として日本に導入され、現在「eduroam JP」の名称で、NIIが東北大学と共同で国内における運用・サポート、技術開発などを行っています。

2014年1月時点で、国内57機関がeduroamに参加しています(前年度比 +14機関)。新時代の教育・研究をサポートする情報インフラの一つとして、多くの機関の参加をお待ちしております。

「eduroam JP」が創るユビキタスキャンパス環境

eduroamで何ができるの？

- ✓ **自機関はもちろん、国内外の訪問先機関の無線LANが利用可能です**
 - ✓ 現地スタッフの手を借りずに、無線LANによる高速ネットワークがいつでも自由に、無償で利用できます。
 - ✓ 認証連携により、所属機関で発行されたIDがどこでも使えます。
 - ✓ 単位互換制度による学生の移動をサポート。
 - ✓ 高速ネットワークを利用した新しい授業形態をサポート。
- ✓ **ユーザ認証と通信の高いセキュリティを確保できます**
 - ✓ 1X方式による安全なユーザ認証。偽基地局対策も可能。
 - ✓ WPA/AESによる強力な通信暗号化。
- ✓ **様々な端末が使えます**
 - ✓ WindowsやMacはもちろんのこと、iPhoneやAndroidなどの様々な機器が使えます。
- ✓ **学術認証フェデレーションとも連携できます (オプション)**
 - ✓ NIIが運用している「学術認証フェデレーション」に機関が参加することにより、Shibboleth のアカウントを用いて eduroam が利用できるようになります。



どこで使えるの？

- 参加機関のアクセスポイントが利用できます。
- 関東地区の貸会議室、カフェ等の公衆無線LANサービスのアクセスポイント約130基が利用できます。





ユーザーへの情報発信・交流

- 研究図書館におけるニーズの把握、プレゼンスの強化には、ユーザーとのコミュニケーション、こちら側からの情報発信が必須。

#アジア経済研究所図書館「日常的な職員間のコミュニケーション」、国会図書館「情報提供」

- 利用者の数が、収入(＝補助金)に直結する場合は、より広い範囲のユーザーへの発信と交流が必要

※東洋文庫友の会、アジ歴サポーターズなど。

↑ ↓

#斎藤報告にある東南アジアの研究者サービスの事例(＝深く、狭く)



ユーザーへの情報発信・交流

■ ※ハーバードイェンチン研究所、台湾・国家図書館漢学研究センターなどでは、Facebook等SNSを活用



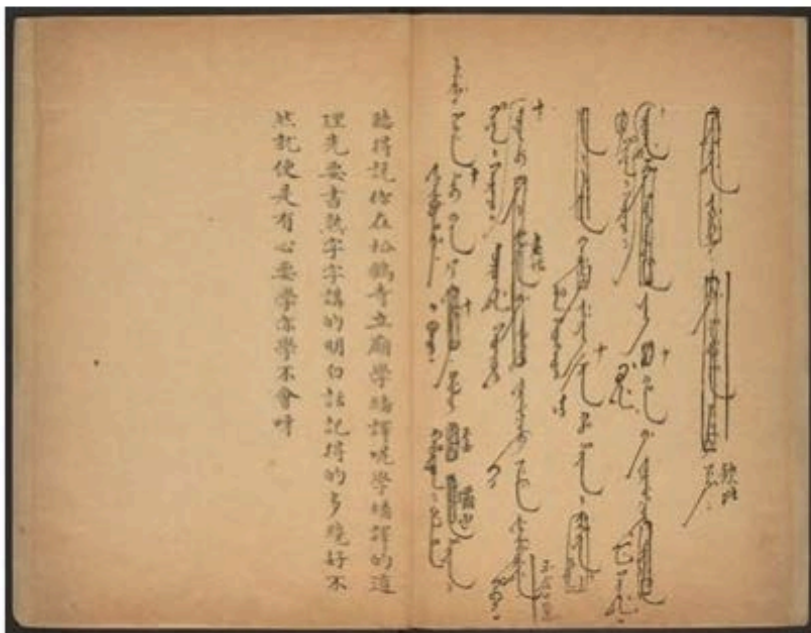
Harvard-Yenching Library

3月3日

Daoguang Man yi Han wen lian xi ce. 道光滿譯漢文練習冊.

A nineteenth-century workbook for Manchu learners, from Harvard-Yenching Library's Manchu Collection.

<http://pds.lib.harvard.edu/pds/view/45806331?n=4&printThumbnails=true>



いいね！・コメントする・シェア

22

66人がいいね！と言っています。

人気のコメント



Jane Liao

E-Newsletter for Research in Chinese Studies Issue 99 (March, 2014)

<http://ccs.ncl.edu.tw/new/>

翻訳を見る

漢学研究通訊 電子版

中文・English

漢學研究通訊電子版每月發刊一期，做為漢學界的溝通橋樑，即時性的報導海內外漢學研究現況，內容包括研討會、學術活動、人事動態以及出版訊息等。期望經由本報使讀者迅速掌握漢學界最新動態，促進彼此互動。圖地公開，歡迎海內外讀者提供相關資訊。

研討會訊息 | 學術活動 | 出版訊息 | 人事動態 | 本中心訊息 | 其他事務

第99期 2014/03/01

我要訂閱: 訂閱 取消

研討會訊息

- 「新典中教與宗教性」學術研討會
- 超越する東とアジア：共生のダイナミクス
- 國際シンポジウム「現代日中関係の源
- 「近代東亞思想史」の西學東傳問題

學術活動

- 2014春大講評——討論書展講座
- 【演講】陳明強：新學制與學術研究
- 【演講】李仁淵：近代中國文字學
- 【演講】吳俊雄：當代中國學術研究

いいね！・コメントする・3月3日 15:33

対外連携とDB・アーカイブ構築の結合

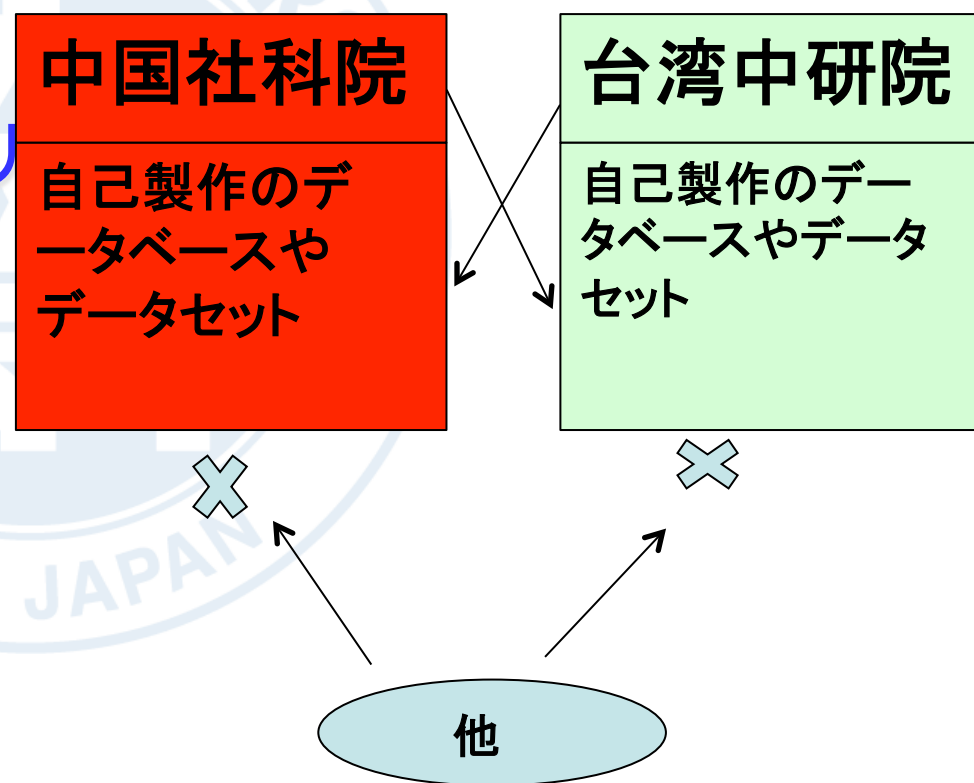
■ リソースの拡充は、やはり図書館にとっては大きな関心。しかし予算は…

→ 実は金銭を用いず自館のリソースを増加させる方法が！

※ 台湾・中央研究院と中国・中国社会科学院の事例。自館で作ったデータベースや画像データを特定の機関に、相互に限定的に提供。

リソースシェアリング？ Or

データ貿易？



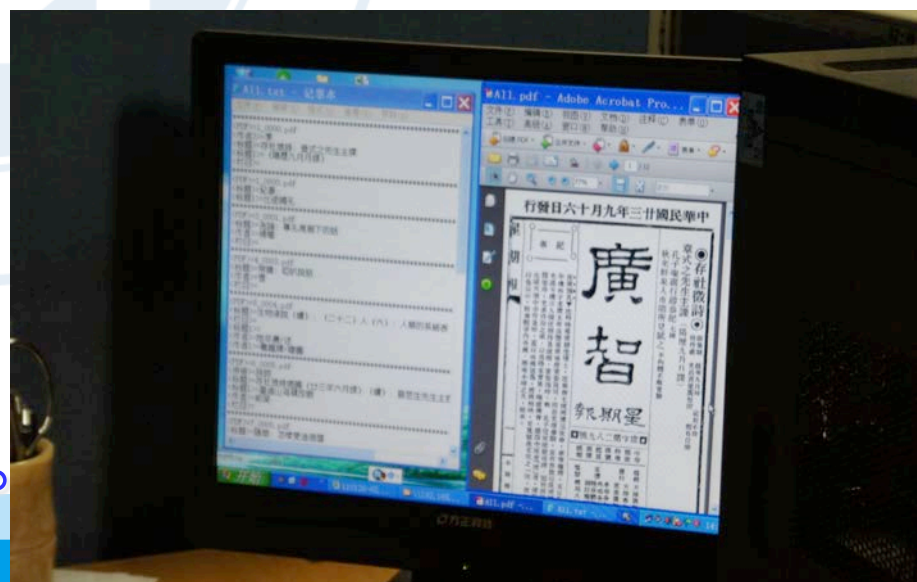
対外連携とDB・アーカイブ構築の結合

→自館に価値のあるデータがあることと、デジタル化されていることが前提。

#DB・アーカイブ構築については、アジ経や斎藤報告にあるように東南アジアでも実施(=新聞切り抜き)。東南アジアでは、訪問研究者による寄贈資料の受け入れ等も興味深い。

◎対外連携とDB・アーカイブ構築の結合についての事例・トラブル等がありますか？

※この他、上海図書館や中国研究服務中心、東洋文庫、東文研、京大東南アジア研究所、京大人文研等でも構築は実施。





対外連携とDB・アーカイブ構築の結合

東洋文庫近代中国関係資料デジタルライブラリー

No.1 (全2件) 次のレコード ※

一覧へ戻る

前画面へ戻る

検索画面

旧紙幣見本帖 / 満洲中央銀行[編].

画像をクリックすると拡大表示します。





結論みたいなもの？

■ 短期的には、

①ユーザーへの発信・交流による、存在意義のアピール、ユーザーニーズの把握によって価値を高めていく、

②研究図書館間の提携・協力によって価値を高めていく、などの方策が考えられる(究極的には分担収集まで)。

→①②ともに、デジタル技術とそれに付随する著作権法に強い職員が存在するかどうかがかギ。養成するか、採用するか。

→業界的・国会図書館で支援？

■ 中期的には、①スタッフの分化(インフラ系、研究系…)

②書籍中心の「図書館」を脱し、参加や来館によってユーザーにメリットが与えられる空間を目指すべき？

■ 各館の目指す方向性によって、アクセントをつけるべき。